

和歌山から生まれた奇跡の実話『海難 1890』 日本アカデミー賞優秀賞10部門受賞の快挙！ 作品賞・主演男優賞(内野聖陽)・監督賞始め技術部門全部門で受賞 日本中を感動の渦に巻き込んだ本作のロングランも決定！ 絶賛上映中 お見逃しなく！！

平素より大変お世話になっております。

125年前に和歌山県串本町樫野崎沖で座礁したトルコ軍艦の乗組員を現地の人々が救助し、命を救った「エルトゥール号海難事故」と、その95年後に戦禍のテヘランで取り残された日本人をトルコの救援機が救出した「イラン・テヘラン在留邦人救出劇」という二つの史実を描いた、日本・トルコ合作映画『海難 1890』。

本作は、2015年12月5日(土)全国の映画館309館で公開され、物語の舞台となった和歌山県内では、ジストシネマ和歌山、イオンシネマ和歌山、ジストシネマ南紀、ジストシネマ田辺、ジストシネマ御坊の、県内の全ての映画館で上映しております。公開初日には、和歌山県内の動員数・興行収入ともに、昨年公開作品の中でNo.1となる絶好調スタートを切り、1月17日(日)までに【県内観客累計動員数】58,532人【県内興行収入】66,505,700円 本年度和歌山県内での観客動員数・興行収入第1位の大ヒットを記録しております。

この度、『海難 1890』が「第39回日本アカデミー賞」の優秀賞10部門を受賞しました。(※下記、受賞詳細)
なお、最優秀賞の発表は、3月4日に行われる第39回日本アカデミー賞授賞式で発表されます。2月以降の県内でのロングランも決定し、今後、賞レースでも輝かしい記録を残せるか、期待が高まります。

つきましては、是非、本ニュースを、お取り扱いいただきたく、下記の通り、ご案内申し上げます。

『海難 1890』本年度和歌山県内での観客動員数・興行収入 第1位を記録！！

12月5日(土)より、全国劇場にて公開されました、日本・トルコ合作映画『海難 1890』ですが、和歌山県内での累計観客動員数、興行収入において、『ジュラシックワールド』や『名探偵コナン 業火の向日葵』等の大ヒット作品を抜き、ともに、2015年度に公開された映画の中で、堂々の第1位を記録。今なお、記録を更新しております。下記、12月5日(土)からの和歌山県内上映劇場(ジストシネマ和歌山、イオンシネマ和歌山、ジストシネマ南紀、ジストシネマ田辺、ジストシネマ御坊)での観客動員数、興行収入になります。

【県内観客累計動員数】 58,532人

【県内興行収入】 66,505,700円 ※2016年1月17日現在

第39回日本アカデミー賞受賞リスト(『海難 1890』関連 ※敬称略)

- 優秀作品賞
- 優秀監督賞(田中光敏)
- 優秀主演男優賞(内野聖陽)
- 優秀脚本賞(小松江里子)
- 優秀撮影賞(永田鉄男)
- 優秀音楽賞(大島ミチル)
- 優秀録音賞(松陰信彦)
- 優秀照明賞(安藤清人)
- 優秀美術賞(花谷秀文)
- 優秀編集賞(川島章正)



『海難 1890』 絶賛公開中